

研究計画概要書

研究課題名	歩行中のスマートフォン使用による定型発達児の歩容変化
研究責任者（所属・職名・氏名）	名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻 教授 杉浦英志
研究分担者（所属・職名・氏名）	名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻 4年 大森有紗
研究事務局 （機関の名称・住所・連絡先）	名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻 〒461-8673 名古屋市東区大幸南1丁目1-20 大幸キャンパス別館 312 研究室
研究実施場所	名古屋大学医学部保健学科大幸キャンパス
研究の意義・目的	<p>背景・目的</p> <p>2019年現在、スマートフォンの世帯普及率や個人保有率の急激な増加が認められている。それに加え、小学生におけるスマートフォン普及率も増加しており、今後さらに増加が続くと考えられる。このようなスマートフォンの普及に伴い、歩きながらスマートフォンを使用することで生じる衝突や転倒等の事故も多くみられるようになってきている。健常成人を対象とした先行研究において、歩行中にスマートフォンを使用することにより、歩行速度の低下や歩幅の減少が生じるという報告がある。また歩行速度の低下や歩幅の減少は転倒関連因子として知られている。しかし、定型発達児を対象としたこのような研究はまだ行われていない。そこで今回は、歩行中のスマートフォンの使用が歩容に与える影響について、定型発達児を対象に検討することを目的とした。</p>
対象疾患及び選定理由	名古屋大学・愛知県三河青い鳥医療療育センターの共同研究である健診事業において、本研究への参加の同意を得られたものを対象者とする。
実施計画	3次元動作解析装置を用いて、前額面・矢状面・水平面からみた下肢関節の動き、歩行速度、歩幅、立脚期・遊脚期・両脚支持期の各割合、荷重応答期の長さ、歩容の再現性などに着目し、スマートフォン使用時と未使用時（通常歩行時）間の変化を観察する。観察された歩容変化と転倒因子の関連性を考察し、スマートフォン使用に伴った危険性について検討を行う。
被験者等に対するインフォームド・コンセント	<ol style="list-style-type: none"> 1) インフォームド・コンセントに基づき同意が得られた者のみに研究を行う。 2) 対象者のプライバシーを守秘し、研究結果から得られるいかなる情報も研究目的以外には使用しない。

	<p>3) 対象者が研究参加中止を希望した場合には速やかに中止する。</p> <p>4) 研究結果は参加者本人から要請があった場合のみ本人に直接知らせる。</p> <p>5) 対象者に未成年者を含むため本ホームページに研究内容を公開し、研究対象者の親権者が拒否できる機会を保證する。</p>
個人情報保護の方法	<p>データを保存した USB メモリは研究室の鍵のかかる戸棚に厳重に保管する。また、データベースへのアクセスはアカウントへのパスワードによるセキュリティー管理のもと本研究実施者のみが可能とし、第三者がデータを閲覧することはできない。さらに被験者名の匿名化を行い、プライバシーの保護に努めの個人情報は厳格に守秘する。</p>
効果安全性評価委員会(委員の職名・氏名・審査間隔)	<p>該当なし</p>
被験者等に対して重大な事態が生じた場合の対処方法	<p>該当なし</p>